

# 徳島成年女子8位



## 箱崎・藤城ペア 大活躍

順位決定戦を2戦連続で落とし、8位となった成年女子の四国大。目標としていた8位越えは来年以降に持ち越しとなったが、次々と実業団選手を撃破して1回戦から5戦全勝と気を吐いた箱崎・藤城のエースペアは「自信につながった」と手応えを感じた様子だった。

順位決定戦でも2人は躍動。後衛の箱崎が豊富な運動量で球を追って力強く打ち返すと、前衛の藤城は甘くなった打球に素早く反応し、ボレーやスマ

ッシュを決めた。圧巻だったのは7、8位を争った2戦目の広島戦。実業団ペアに対しても「厳しい球は返ってこない」と見て、箱崎も積極的に前に出て相手にプレッシャーをかけた。ネット際を制し、4-2で格上を下した。

2人が勢いに乗ったのが前日の準々決勝・京都戦。これまで一度も勝ったことのない実業団トップペアに勝ち、藤城は「強い選手に立ち向かっていくのが楽しかった」。第1ペアとしての

役割を果たした後、チームは敗れたが国体2度目となる8強入りの原動力となった。

2人は共に3年生。岩脇監督は「舞台でいい経験が積めた。まだまだ成長する」と太鼓判を押す。来年は名選手ともにチームをけん引する立場となる。箱崎が「次回はベスト4入りを目指す」と意気込めば、藤城は「自分たちで新たな歴史をつくっていきたい」とさらなる飛躍を誓った。

(富士佳輝・写真も)

成年女子7・8位決定戦 徳島対広島 第1ペア戦を4-2で制した徳島の箱崎(右)・藤城ペア  
石川スポーツセンターテニスコート